

授業科目名 (英文名)	カウンセリング論(教職課程科目) (Counseling)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1
担当教員	金 外淑	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>カウンセリングの諸理論について学ぶとともに、カウンセリング場面の基本的姿勢や技法を学ぶ。講義では、カウンセリングでの自己洞察・自己成長に役立つ人間関係づくりに対する体験学習を通じて、様々な場面で起こりえる対人コミュニケーションに必要なスキルを身につけ、自己理解を深めることを目標とする。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 カウンセリング理論とカウンセリングの基本的な技法を実践的に学ぶとともに、体験学習で学んだ自己理解やコミュニケーションスキルを今後の生活につなげ、教育・臨床場面への心理的援助について講述する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス(本講義の目標や概要の説明) 2. カウンセリングの必要性和カウンセラーの役割 3. カウンセリングの基本と実習 4. カウンセリングの基本と実習 5. カウンセリングの技法 6. カウンセリングの技法 (体験学習) 7. カウンセリングの技法 (体験学習) 8. こころの問題とカウンセリング 9. こころの問題とカウンセリング 10. スクールカウンセリング 11. スクールカウンセリング (体験学習) 12. 臨床カウンセリング 13. 臨床カウンセリング 14. 臨床カウンセリング (体験学習) 15. まとめ 16. 評価(到達度の確認) 		
テキスト	授業中に講義資料を配布する。必要に応じ、ビデオ教材を用いる。		
参考文献	授業中に講義内容に関連する参考文献を紹介する。		
成績評価の基準・方法	授業態度・発言(30%)、テスト(50%)、授業への取り組みおよび、課題レポート(20%)を含めて総合的に評価する。出席率が著しく良くない学生は不可とする。		
履修上の注意・履修要件	小グループでの体験学習(ロールプレイ演習)に積極的に参加することが要求される。		
実践的教育	心療内科でカウンセラーとしての経験を持つ教員が、カウンセリング場面に必要な基本的な知識と心理技法を学び、心理的援助方法について講義する。		
備考	本講義は担当教員の専門分野である「臨床心理」「心身医学」領域の心療内科臨床経験に基づき、体験学習などを通じて、受講者の自己成長に役立つカウンセリングスキルなどをわかりやすく提供する。		